

令和元年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(向原児童館)

開催日時	令和元年10月31日(木)午後7時から午後9時15分	天気 晴
場所	向原児童館	
町民参加者	男28人 女5人 (50代3人、60代以上30人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、福祉課長、定住対策課長、環境課長、事務局2人	

出席者から出た主な意見や提案

《テーマ：向原地区の将来に向け、防災・防犯に強い、地域づくりを目指す！》

○向原の将来を検討していく中で、台風に備えるため防災の観点、さらに近年空き家が目立ってきたので防犯という観点から、地域づくりを考えていきたいと思っている。

○今回の台風19号は大きな災害となった。町では第5次総合計画の中で、時期を区切って工夫して安全防災の町づくりを進めているが、今回報道されているように想定外のことが起きている。町が施策を推進していくことも大切だが、町民が何も知らなくては意味がないので、町民にも周知し自助公助の考え方のもと、今後も防災対策を進めてもらいたい。
また、町でハザードマップを作成しているが、町民はその存在も知らない人も多い。防災に対する意識を啓蒙していかないと、町がどのような施策をしても空回りになるので、ぜひその点での対策もお願いしたい。

○町で管理している、水路や堰は設計上、時間雨量何mmまで対応できる計算なのか。

○台風19号では、レベル4の避難勧告まで出されたが、今回向原地区の山北中学校と山北高校は避難所として指定されているにも関わらず、開設されなかった。そのいきさつを知りたい。

○昨年は山北中学校で開設しており、私が行った時は、職員が二人いた。そもそも生涯学習センターのキャパシティーだけで山北・岸・向原地区の避難所としてふさわしいのか。自治会の方からも、避難所は開設しないのかと問合せがあったが、自治会の人間からすると今回の避難所開設についてはとても理解できない。80歳以上の要支援者が問題であり、移動の手段もなく生涯学習センターは遠くて行けない方がほとんどである。町がマイクロバスを出して避難所まで送迎する等の手立てもない。山北高校は水害の危険もあるので開かなかったのは理解できるが、避難所開設に関して何か基準等はあるのか。

○今回避難所を4箇所しか開設しなかった理由は何なのか。人手不足なのか、それとも金銭の問題なのか。

- 山北・岸・向原地区の避難先をまとめて生涯学習センターとしたが、避難者のキャパシティーはいくつなのか。
- そもそも生涯学習センターだけで、山北・岸・向原地区すべての住民をカバーできるのか。できないのであれば、町有施設や自治会施設のすべてを開放するべきである。
- 昨年度から要望しているが、町の防災組織と自主防災組織の役割決りをきちんと決めていただきたい。
- 雨量計をもっと細かく設置してもらい、町で情報を把握して地区ごとに避難情報等を提供してもらいたい。実際、見に行くことは危険だし、夜などは特に水位の状況がよく分からない。
- 町には、町民が知ることのできる情報よりも細かい情報を把握してもらい、それを総合して的確な避難指示等の情報提供をしてほしい。
- 以前から、自主防衛は必要だと話は聞いており、承知もしているが、そのためにも最新かつ正確な情報を把握したい。前耕地地区は、洪水ハザードマップでは50 cm以上の浸水が予想されているが、最近の気象条件ではこれを超える可能性もある。改訂の予定はあるのか。
- 高松から下ってくる間に何本も木が倒れたりしている。土石流等の危険もあり、単純に雨量の数値だけで安全を判断するべきではない。
- 避難所について、東京の方では入りきれずにたらい回しにされたことがあったという。山北町でも避難所に入りきれない、避難所に行けないなどの時に、他の市町村との連携は取っているのか。
- ハザードマップには、大雨の場合はここが危ないから行ってはいけない、別の避難ルートを使って避難等、状況ごとの避難のシミュレーションを行い、示していただきたい。
- 防災に強い地域づくりをしている観点から、防災にお金を使ってほしい。
- 風水害や地震、噴火、火事の時など災害別の、自主防災組織も含めた対応の防災フロー図はあるのか。
- 避難所開設時のフローはあるのか。どんな人が来ても対応はできるのか。担架や車いすは準備されているのか。毛布や駐車場の数は足りるのか。町としてどこまで考えているのかを聞きたい。
- 水道事業についての現状を具体的に知りたいところである。例えば耐震化率、耐震適合率、漏水件数、漏水率は改善されているのか、基本計画に対する進捗率、料金改定と計画の関係性等分か

らないことが多い。具体的な数字と共に将来の姿が分かるような形で公開してほしい。

○昨年、向原バイパスの向原東の信号に右折信号設置の検討をお願いしたが、どうなったのか。